

特定行為研修の概要

国立病院機構北海道医療センター（以下「当院」という。）は、「人と自然の健康と調和を大切にする医療を実践します」の理念のもと、三次救命救急センターの超急性期医療から慢性期、セーフティネット分野と幅広く医療を担い、地域医療支援病院や難病診療連携拠点病院等の様々な指定病院として地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ維持するために、未来を担う医療人の育成は、幅広く医療を提供している当院の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、当院は看護師特定行為研修を推進することとしました。

＜研修理念＞

国立病院機構北海道医療センター 看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これから時代に望まれる医療に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働していくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

＜研修目的＞

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

＜研修目標＞

1. 多様な臨床場面において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる。
2. 多様な臨床場面において、必要な治療を理解した上で、対象の状態に応じた対処を導くことができる。
3. 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる。
4. 対象の問題解決に向けて、多職種の専門性を尊重し、効果的に協働することができる。
5. 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。

＜研修内容＞

1. 共通科目

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	31 時間
2	臨床推論	45 時間
3	フィジカルアセスメント	45 時間
4	臨床薬理学	45 時間
5	疾病論・臨床病態論	41 時間
6	医療安全学	45 時間
7	特定行為実践	
小計		252 時間

*共通科目は、講義（e-ラーニング）、演習・実習で構成されます。時間数には評価時間を含みます。

2. 区分別科目（1～6は選択科目、7はパッケージ研修） (*評価時間は除く)

区分 No.	特定行為区分	時間数
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間
4	創傷管理関連	34 時間
5	創部ドレーン管理関連	6 時間
6	栄養及び水分管理に関する薬剤投与関連	16 時間
7	在宅・慢性期パッケージ	61 時間

*区分別科目は、講義（e-ラーニング）、演習・実習で構成されます。

区分別科目を履修するためには、共通科目的全科目に合格していることが必要です。

<研修修了要件>

研修科目における出席時間が当該科目時間数を満たしたうえで、各科目に定める終了試験（筆記試験・実技評価・実習評価等）に合格すること。

*特定行為研修終了後、修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

<研修期間>

2026年4月1日～2027年3月31日

2026年4月上旬	開講式・ガイダンス（集合）
2026年4月開講式翌日～	共通科目受講開始（e ラーニング）
2026年6月中旬	共通科目試験① 演習・実習①（集合）
2026年7月下旬	共通科目試験② 演習・実習②（集合）
2026年8月下旬	共通科目試験③ 演習・実習③（集合）
2026年8月下旬	共通科目修了
2025年9月中旬	区分別科目受講開始（e ラーニング）
2026年10月中旬～11月下旬	区分別科目修了試験・演習・実技評価（集合）
2026年12月上旬	臨地実習開始
2027年2月中旬	臨地実習修了
2027年3月下旬	修了式

※共通科目・区分別科目の講義（e ラーニング）は自施設で受講可

<研修場所・実習施設>

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター 西館1階 トレーニングラボ室

<研修経費>

1. 受講料

共通科目（必須）	特定行為区分（選択）	
¥200,000	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	¥40,500
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	¥130,500
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	¥36,000
	創傷管理関連	¥153,000
	創部ドレーン管理関連	¥22,500
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	¥72,000
	在宅・慢性期領域パッケージ	¥274,500

2. その他

学習に必要なテキスト等の書籍費

<その他>

1. 履修免除について

厚生労働省の指定研修機において、250 時間以上の e-ラーニングを 10 年以内に履修している場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。出願時に書類の提出が必要となりますので、出願前に問い合わせ先までご連絡ください。

2. 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

応募要領

1. 受講資格

以下のすべてを満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、5年以上の実務経験を有すること
- 3) 所属施設長の推薦を有すること

2. 募集人員 10名

3. 試験日 2026年1月27日(火)

4. 試験科目 小論文(800字程度)、面接試験

5. 出願手続

1) 出願期間 2025年12月25日(木)～2026年1月8日(木) 消印有効

2) 出願書類

- (1)受講申請書(指定用紙)
- (2)履歴書(指定用紙)
- (3)志願理由書(指定用紙)
- (4)所属施設長の推薦書(指定用紙)
- (5)看護師免許の写し(A4サイズ)
- (6)受験票
- (7)写真票
- (8)返信用封筒

3) 審査料 20,000円

- (1)納入は、銀行振り込みとします。
- (2)「振込人」は、申請者名の前に『特定行為』と記載し、申請者本人の氏名を記入してください。
- (3)振込手数料は、ご依頼人の負担となります。

振込先：北海道銀行 琴似支店 普通 0511250
口座名義 北海道医療センター
フリガナ ホッカイドウイリョウセンター

4) 出願書類の書き方

(1)受講申請書：指定用紙(様式1)

- ①「申請者氏名(ふりがな)」は、本人が署名し押印してください。

(2)履歴書：指定用紙(様式2)

- ①年齢は、2026年4月1日現在で記入してください。
- ②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
- ④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。
- ⑤写真は6か月以内に撮影したもの(縦45mm×横35mm、裏面に氏名記載)を貼付してください。

(3)志願理由書：指定用紙(様式3)

- ①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4)推薦書：指定用紙（様式4）

- ①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。
- ②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。
- ③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5)看護師免許証の写し

- ①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(6)受験票：指定用紙（様式5）

- ①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(7)写真票：指定用紙（様式5）

- ①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。

- ②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8)返信用封筒（受験票送付用）

- ①長形3号封筒（120×235mm）に受験者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、速達郵便額相当分（410円分）を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。

封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6) 注意事項

- (1)試験日の4日前になんでも受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター 特定行為研修担当者

電話（代表）011-611-8111

- (2)一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター 西館5階 第4会議室

2) 時間割

試験科目	試験時間
受付 (15分)	9:00～9:15
オリエンテーション (5分)	9:15～9:20
小論文 (60分)	9:25～10:25
面接オリエンテーション (5分)	10:30～10:35
面接（原則、受験番号の早い順で計画）	10:40～終了まで

3) 試験に持参するもの

- (1)受験票

- (2)筆記用具（鉛筆・シャープペンシルを準備してください）

4) 試験時の注意点

- (1)試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。

- (2)試験中は、係員の指示に従ってください。

- (3)病院駐車場は、原則使用できません。公的交通機関で来院ください。

8. 合格発表・入講手続

1) 合格発表日：2026年2月17日（火）

(1)病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。

(2)同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。

(3)電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 入講手続

(1)手続期間 2026年2月18日（水）～3月11日（水）

(2)入講に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

1) 提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。

2) 北海道医療センターのホームページから、募集要項、出願書類がダウンロードできます。

https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/nurse/training_2026.html

3) 入講前の既習科目（e-ラーニング）の認定及び履修免除を受けようとする方は、お問い合わせください。

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒063-0005

北海道札幌市西区山の手5条7丁目1番1号

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター

特定行為研修 受講審査係

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター

看護部長室

電話（代表）：011-611-8111

アドレス：101-tokutei@mail.hosp.go.jp

*電話問い合わせは、祝日を除く月～金曜日の9:00～16:00までにご連絡ください。